

内房地区

おざきとりで 尾崎砦(富士浅間神社)

戦国時代、静岡県と山梨県の県境にある白鳥山しらとりやまから南東方向に伸びた尾根の先端には、山頂の白鳥山城やまじろの防衛拠点や物資の中継地点として築かれた山城※1「尾崎砦」がありました。

平成9年に行われた城跡の調査※2によると、堀の一部が武田氏の城と同じ構造のものがある一方で、これよりも古い構造の堀があることが判明しました。尾崎砦を含む白鳥山周辺は、今川氏の家臣、萩氏の支配下にありましたが、永禄11(1568)年から行われた武田信玄の駿河侵攻により奪われ、その後武田氏によって改修されたと推測されます。

尾崎砦があった場所には富士浅間神社が建てられ、本殿には室町時代末から江戸時代前半に作られたとされる神像が祀られています。

また、神社の北側には、当時作られた堀が今も残っています。

- ※1 険しい山の尾根や山頂に築かれた防御に特化した土の城
- ※2 この調査により、城の各施設の配置を示した平面図「縄張り図」が作成され、城の全体構造を把握できるようになった。



尾崎砦縄張り図 (1997山梨県富士町教育委員会より)



富士浅間神社の境内

歩く博物館 Wコース<内房地区> 内房の里を歩くコース

市役所6階文化課、出張所
または市公式ウェブサイトなど
にあります。



ID 1769



歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

- 料 500円
- 申 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で
- 他 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。
- 問 文化課 ☎22-1187
- ✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

有料
ガイドブック



問 文化課 ☎22-1187